平成 25年度第2回北海道入札監視委員会 開催結果

日 時 平成 25 年 11 月 21 日 (木) 15:30~ 場 所 本庁舎 2階 共用会議室

(委員会次第)

- 1 開 会
- 2 報告事項
- (1)平成25年度入札契約執行状況(平成25年6月末)
- (2)談合情報の対応状況
- (3)その他報告事項
- 3 議事 平成25年度北海道入札監視委員会現地調査結果
- 4 審 議 根室振興局発注案件
- 5 閉 会

平成25年度 第2回北海道入札監視委員会 出席者名簿

委 員 長	吉 岡 征 雄
委員	伊勢田 和 幸
委員	大野由夏(欠席)
委員	蟹 江 俊 仁
委員	齊 藤 揮誉浩
委員	肘 井 博 行

五十音順、敬称略

関係各部局出席者

所属	職	氏名
農政部農村振興局事業調整課	課長	西 山 宰
"	主 幹	富 岡 尊 志
"	主 査	菊 池 祐 二
水産林務部総務課	主 幹	金 崎 伸 幸
"	主 査	米屋 鶏太
建設部建設管理局建設情報課	課長	高 瀬 浩
"	主 幹	佐 藤 克 幸
"	主 幹	早川 友浩
"	主 査	北 本 幸 徳
"	主 査	有 馬 純 生
建設部建築局計画管理課	課長	喜 多 睦 夫
"	主 幹	玉田 甲
"	主 査	田 所 優 花
出納局財務指導課	課長	原田隆之
"	主 幹	川田和明
"	主 査	阿 保 恵 一
根室振興局地域振興部総務課	主 幹	西 堀 謙 二
根室振興局地域振興部農村振興課	課長	青木 眞一
"	主 幹	高橋 慶次
"	主 査	大 湊 浩 聡
"	主査	羽 野 広 樹

事務局

所属	職	氏名
総務部行政改革局	次長兼局長	坂 本 和 彦
総務部行政改革局行政改革課	課長	濱 坂 真 一
"	主 幹	宮 澤 宏
"	主査	三 浦 哲 晃

平成25年度第2回北海道入札監視委員会議事録

1 開会

(事務局)

ただいまから、平成25年度第2回入札監視委員会を開催いたします。

本日は、大野委員が都合により欠席されておりますが、委員会設置要綱に定める開催要件を満たしていることをご報告いたします。

それでは、これからの議事の進行につきましては、吉岡委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

2 報告事項

(1) 平成25年度入札契約執行状況(平成25年6月末)

(事務局)

【 資料1-1に基づき説明 】

(肘井委員)

今年度の一般競争入札の実施率が10.1%増えていますが、どのような理由ですか。

(事務局)

土木関係部門において、実施率が上がっていますが、こちらについては、1000万円以上で一般競争入札を実施していますので、4月から6月の状況で1000万円以上の工事の発注が多かったところです。

(2)談合情報の対応状況

(事務局)

【 資料2-1に基づき説明 】

(肘井委員)

情報の具体的な中身はどこを見ればいいのでしょうか。

(事務局)

資料2 - 1の資料になります。報道機関から情報が入りまして、落札者が特定されていたのと下請け業者についても特定されていたので調査を行いました。

(蟹江委員)

報道機関へ送られてきたファックスは、ご覧になっているのですか。

(事務局)

どのような内容か見せてくださいとお願いしましたが、見せていただけませんでした。

(蟹江委員)

情報内容に書いている伏せ字になっている、どこが落札して、下請けには何とかの何とかですということだけが、口頭で伝えられたのですか。

(事務局)

はい。

(伊勢田委員)

情報予定者としてあげられていた企業さんが、最終的には参加をされないという形で終わっていますが、これについての事情というのは何かお聞きでしょうか。つまり、あなたのところが名指しされていますよということは、相手の企業さんには言っていませんので、自主的な参加見合わせですよね。何かしらの事情があったのか否や。

(事務局)

そのところは、確認していません。

(蟹江委員)

この対応には、特に問題ないとは思いますが、気になるのは、こういった情報がいつのタイミングできたのかなどが比較的大事なことだと思いますが、例えば入札前のどのくらいのタイミングで送られてきたものなのか。それから、報道機関がしばらく情報を持っていたのかもしれませんよね。あるいは、独自の調査をしているのかもしれない。そういうことも聞けることは聞いた方がいいと思います。これだけが情報というのも少し腑に落ちないところがあります。

(事務局)

資料2-2の取扱注意で公表はしていませんが、この資料の中に入札執行日は8月8日、 情報が寄せられたのが8月5日です。

(蟹江委員)

情報が寄せられたのは、報道機関から寄せられたタイミングではなくて、ファックスが 送られてきたタイミングですか。

(事務局)

これは報道から寄せられてきたものです。ファックスではなく。

(蟹江委員)

例えば、応札を考えている企業が、思わしくない方向に動きそうだなと思ったらこういう情報を流しかねないわけで、だいたいいつ頃にこういう情報が報道機関に寄せられたのかということも、私は知っておいてもいいのかなと思います。

(吉岡委員長)

事情聴取した部分について、資料2 - 2で事情聴取した業者と入札に参加した業者でダブルのは1者だけなのですか。

(事務局)

そうです。

(吉岡委員長)

事情聴取した6者のうち、4者が降りてしまった。だからどうということではないが、 少しおかしな要素があるのかなと思いますが。

(3)その他報告事項

地域限定型一般競争入札の地域間差について

(事務局及び農政部)

【 資料3に基づき説明 】

(齊藤委員)

今の説明の企業努力が行われているとか、地域では、というぼんやりとしていますが、それ以外に地域で見て、こういう傾向が現れていることについての特殊性といいますか、分析された何かがないのでしょうか。むしろ他のところの落札率が高すぎるのではないかということもなく、そこだけが企業努力をされているという位置づけも不思議な感じもするのですが、もっと具体的な理由というものは何かないのですか。

(農政部)

入札ですので、競争原理がどれだけ働いているかの度合いということであると思います。

(吉岡委員長)

若干の宿題的なものもありますので、単発で終わっていいのか、我々の方でも注視していく必要があるのかなと思います。

(蟹江委員)

こういうデータは業者さんや北海道の人ならご存じで、地域によってはずいぶん落札率が違うということはご存じなのですか。

(農政部)

入札結果は公表しておりますので、それで知ることは可能です。

(蟹江委員)

例えば、渡島とか毎回落札率が低いのですが、業者さんから問題などの声が上がってこないのでしょうか。これだけ常態化していれば、この地域ではそれが当たり前で、それを受け入れるという状況なのですか。

(農政部)

特にはないです。

水産委託業務に係る低落札率について

(事務局及び水産林務部)

【 資料3に基づき説明 】

(吉岡委員長)

参加資格者数は多いが、ここ数年の中で辞めた業者はありますか。

(水産林務部)

廃業になったという情報は受けておりませんし、入札に参加している事業者自体が特に 目立って減っていることも確認はとれていません。

(蟹江委員)

この資料のこの数字を見れば非常にわかりやすいので、納得がいくものと思います。 逆に、安く良いものが調達できれば非常にいいので、落札率が低いというのは、一つは 歓迎するべきことであるのは間違いないのですが、見方を変えて言えば、例えば30者に 対して20業務しかないというところを、冒頭でお話しになられた、工事金額が元々大き いので、それを割るなどのことはできないのですか。

(水産林務部)

事業自体が、水産生物などの生息に適合した漁場を造成して行うなど、何を造っても、 どういう規模で造ってもいいというものではないですし、海に出て行って何時間か航行し た上で工事を行ったりするものもありますので、あまりにも工事の規模が小さくなってし まうと、逆に経費の面で不都合が生じることもあります。

談合情報対応手続について【検討の方向性】

(事務局及び出納局)

【 資料3に基づき説明 】

(吉岡委員長)

事情聴取を二度三度行うは公取に言わなければならないのでしょうし、一般的にやって もいいですよって言われたからどんどんやりますよって訳にはいかないですよね。

(出納局)

あくまでも、公正取引委員会の審議活動の妨げとならないように配慮しながらしなければならないと思います。

3 議事

平成25年度北海道入札監視委員会現地調査結果

(吉岡委員長)

それでは、次に現地調査結果に移りますが、現地調査の関係では、現地で対応していただきました関係機関の方々にこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。また、各委員におかれましても、お忙しいところ現地調査にご協力いただきましてありがとうございました。それでは、現地調査の結果について、事務局の方からご説明をお願いします。

(事務局)

【 資料4に基づき説明 】

(吉岡委員長)

各委員にご感想でも結構ですし、ご意見があればいただきたいと思います。まず、第 1回に行かれた齊藤委員、何か感想などはありますか。

(齊藤委員)

特にはないです。

(吉岡委員長)

オホーツクの関係で、まず蟹江委員は。

(蟹江委員)

今お話しがありましたように、電子入札を実際に見学させていただいて、執行の状況を初めて見せていただいたので、大変勉強になりました。もう一つ、今回は水産漁業関係と農地、面的整備の現場を見させていただきました。私自身の印象に残ったことは、例えば漁業関連でサロマ湖では自然環境の影響が当然強く、今年の湖面の凍結はいつ頃なのか、流氷はどのタイミングでくるのかなど、自然条件の影響を当然強く受けるわけで、面的整備についても、そこで作付けされている作物は何なのか、それはその年の状況によってどのくらいで収穫できそうなのかなど、現地のことをよく知っていないと例えば施工計画な

どが難しいなどということがわかりました。発注者側もそういうところに対する深い知識が要求されるでしょうし、受注者側の立場で見れば、自然環境などその時その時で変わる状況をよく理解している人、地元密着といいますか、そういうところの重要性を、特に水産漁業や農地の場合にはあるのだなと思いました。健全な地元の業者を育成するということの重要性があると強く感じました。

(吉岡委員長)

次に、伊勢田委員。

(伊勢田委員)

今、蟹江委員のお話しのあったことと同じように感じてまいりました。

いくつか申し上げたいのですが、一つは、今回のテーマで高落札率の話があったのですが、逆に低落札率が常態化している案件がありました。それ自体がどうこうというものではないが、常態化の原因とは何なのか、その背景を担当課も含め、また、他の振興局の事例も含めて情報交換を行う必要があると思います。競争の激しさというのはあるのかもしれません。懸念されるのが、異常なダンピングが横行しての結果だとすると、決して業界のためにもならないですし、品質の高さを維持していくという点でも問題が起きないか非常に気になりましたので、振興局間、本庁と各振興局との間の情報交換をぜひ進めていただきたい。

もう一つは、A 1 業者で公募をかけたのですが、実際にはA 2 業者が応札に紛れ込んだという事例がありまして、これは単純なミスだそうですが、結局A 2 業者をどう対処するかで、現場ではご苦労されたようです。受付け時点からこういうことが起きると入札行為そのものについて信頼性に対する懸念が残りますので、単純なミスはきちんとした対策をぜひ徹底していただきたい。

三つ目は、電子入札の開札現場を見させていただいて、大変珍しい体験をさせていただきました。これは従前起きました電子入札の開札のミスに発端があって、同額入札であった者を1者だけを特定してしまったという単純なミスだったのですが、それがいかに改善されているかという点で拝見させていただきました。現場では、人の目を重層的に重ねて、こういうミスが起きないように対応している現場でしたが、電子入札システムそのものが根本的に変わっているものではなくて、結局、人間の目を2重、3重にすることによって防ぐという対処でしかないわけです。確かにリスクは減るでしょうけども、ヒューマンエラーが起きないという保証はないわけですから、この辺は今すぐではないですが、システムそのものから見直す、構築し直すことをいずれは検討しなければならない気がいたします。ご苦労はご苦労で体験させていただいてわかったのですが、抜本的な課題は今後残るかなという感想でした。

(吉岡委員長)

それでは、第3回の現地調査ですが、大野委員は欠席ですので、肘井委員お願いします。

(肘井委員)

私は、今回委員になったばかりで、初めての経験でしたので、主に大野委員にお任せする状況でした。その時の議事録を読み返して見ると、この程度の質問しかできなかったことを反省しています。一度経験させていただきましたので、次の機会に本来の委員としての視点から質問していきたいと思います。

(吉岡委員長)

私自身は、第1回の上川の方に行きまして、上川自体は何の問題もなかったのですが、 現地も見させていただいたりしました。以前から申し上げておりましたが、この現地調査 というのは、継続していただいた方がいいと思います。各委員にとっても、プラスになる ことがあっても、マイナスになることはないですので、次年度以降も続けていただけたら と思います。

たまたま上川ということで、ご承知のとおり旭川市の関係で事件が発生しておりますが、 入札を行っている道の方々にも、個人的な贈収賄の話ではなく、公正に入札が行われているのかということについて、業者間の動き等に関して注視していただく必要があるのでは という感想を持っています。渡島での談合情報の扱いは、これはこれでしょうがなかった のかなと思いますが、今後も注視していかないとならないという印象を持っています。問 題意識を持って提出される資料については、見ていただく必要があるのかなと思います。

4 審議(議事概要)

抽出審議 根室振興局発注案件

根室振興局発注の工事3件について、入札参加資格や契約の状況などについて説明を行った。

委員からは、総合評価項目の同種工事、地域貢献度や地域要件などについての質問があり、技術評価点や地域要件の設定理由などの回答を行った。

5 閉会

(吉岡委員長)

次回の第3回委員会においても、抽出審議を行う予定をしておりますので、抽出については、齊藤委員にお願いしたいと思います。

以上で、本日の委員会は終了いたします。

(了)